

2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 営業利益増減の要因分析
- 4) 国内売上高
- 5) 海外売上高
- 6) 商品群別売上高
[参考] 内訳
- 7) トピックス
- 8) 設備投資と研究開発費
- 9) 通期業績見通し
[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響
[参考] COVID-19関連需要の推移(概算)

1) 決算概要

	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計	増減率 (%)	(単位:百万円、単位未満切捨て)
売上高	144,557	156,169	8.0	
国内売上高	93,569	98,598	5.4	
海外売上高	50,987	57,571	12.9	為替影響除く: +6% (為替・決算期変更影響*除く: +3%)
売上総利益 (売上総利益率)	73,496 50.8%	78,282 50.1%	6.5	自社品 2022/12 2023/12 売上比率: 71.7% → 72.8%
営業利益 (営業利益率)	11,377 7.9%	10,515 6.7%	△ 7.6	販管費: 621億円 → 677億円 販管費率: 42.9% → 43.4%
経常利益	13,937	13,258	△ 4.9	為替差益: 2,058百万円 → 2,354百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,860	7,926	△ 10.5	

平均レート	(2022/12)	(2023/12)
1米ドル	134.0円	142.4円
1ユーロ	140.6円	155.7円

※米国子会社再編に伴い、デフィブテック社の決算日を12月31日から3月31日に変更しています。当第3四半期連結累計期間は、2023年1月1日から2023年12月31日までの12ヵ月決算を連結しています。

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 8.0%増

- 国内：消耗品・サービス事業の強化に注力し、全ての市場、全ての商品群で売上が伸長。新築移転に伴う大口商談の受注もあり、大学、私立病院市場が好調に推移。官公立病院、診療所市場も堅調。
- 海外：米国子会社再編に伴うデフィブテック社の決算期変更の影響や円安効果もあり、二桁成長。

営業利益：前年同期比 7.6%減

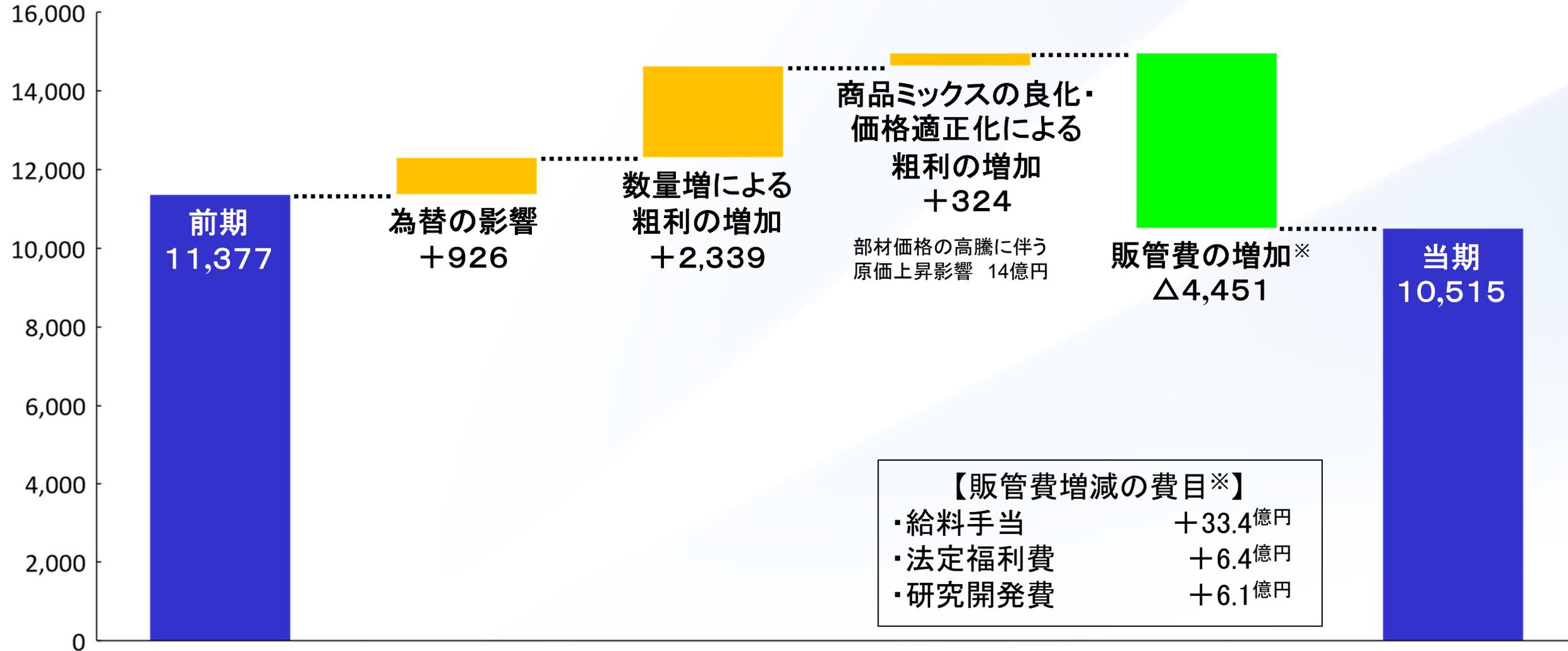
- 人員の増強、研究開発投資、全社収益改革に係る費用により販管費が増加。
- 部材価格の上昇は価格適正化の取り組みにより相殺するも、自社品内の売上構成が変化し、原価率は上昇。

経常利益：前年同期比 4.9%減

- 為替差益は増加。

3) 営業利益増減の要因分析

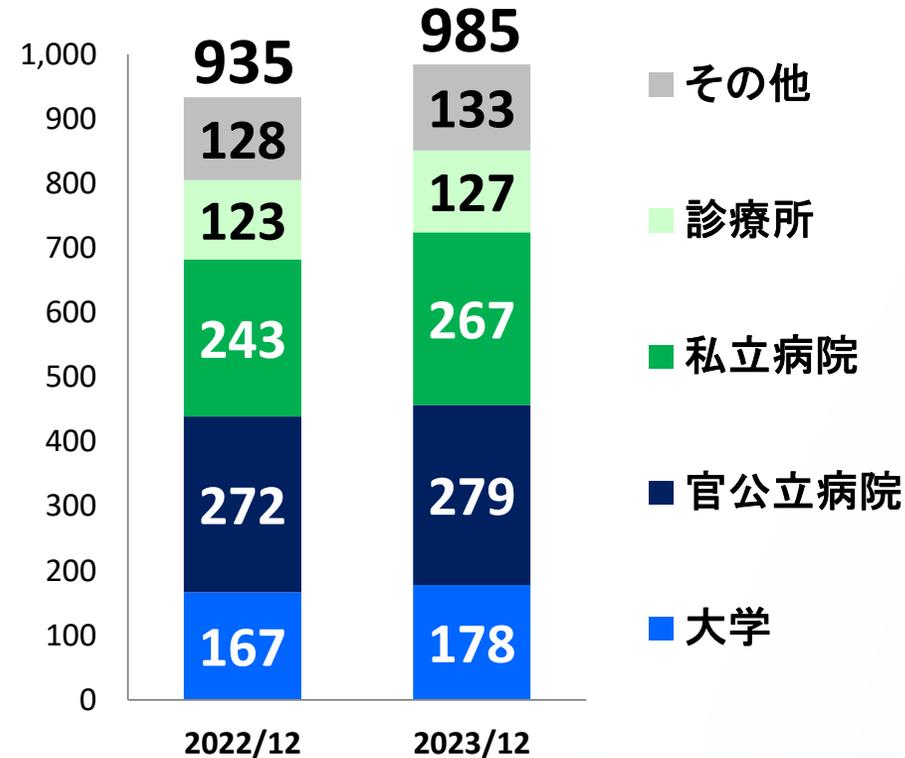
(単位:百万円)



※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

4) 国内売上高

【市場別売上高】



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

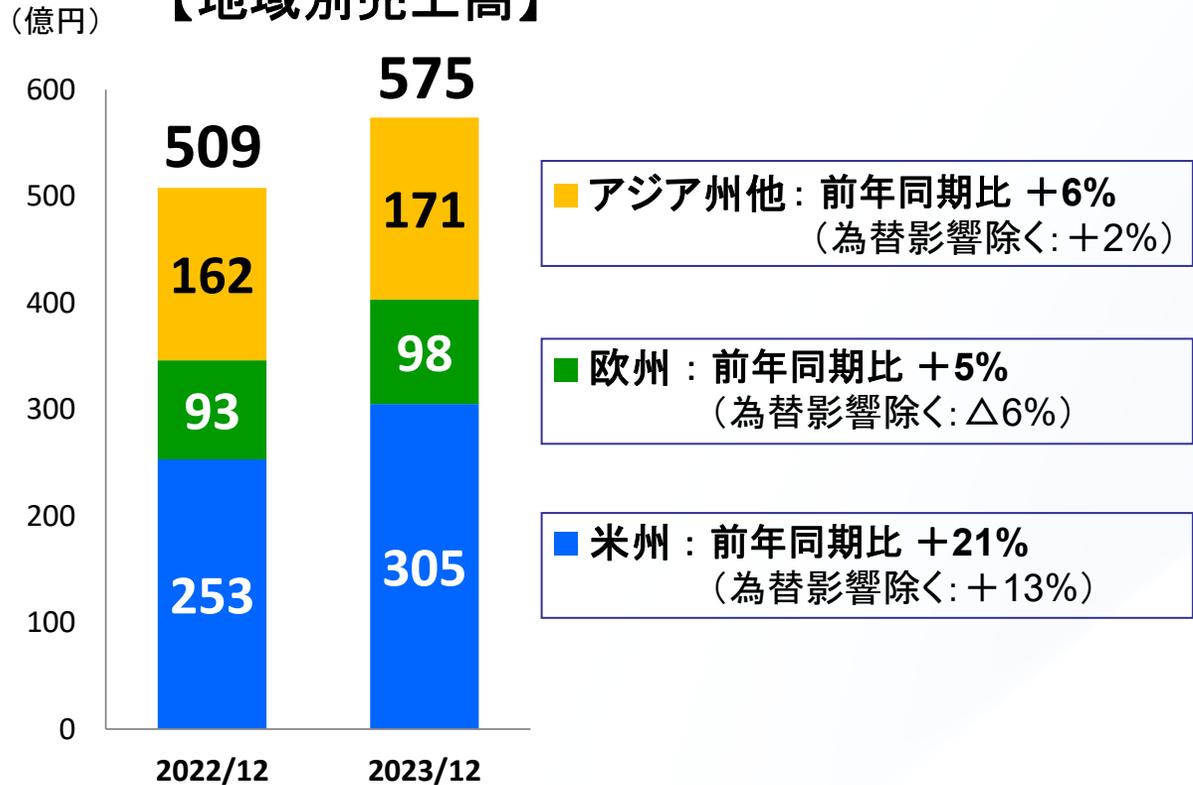
	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	23,375	25,228	7.9
生体情報モニタ	30,711	32,028	4.3
治療機器	18,494	19,900	7.6
その他	20,988	21,440	2.2
売上高合計	93,569	98,598	5.4

【市場別】 医療機関における検査・手術件数が増加傾向にある中、消耗品・サービス事業の強化に注力した結果、全ての市場で増収。新築移転に伴う大口商談の受注もあり、大学、私立病院市場が好調に推移。官公立病院、診療所市場も堅調。

【商品群別】 生体計測機器： 診断情報システム、脳神経系群が二桁成長。心臓カテーテル検査装置群も好調、心電計群は堅調に推移。
 生体情報モニタ： 臨床情報システムが大幅増収。センサ類など消耗品も好調に推移。送信機、ベッドサイドモニタは前年同期を下回る。
 治療機器： 全ての商品が好調に推移。特に、アブレーションカテーテルが二桁成長。人工呼吸器の売上も回復。
 その他： 医療機器の設置工事・保守サービスが好調、検体検査装置・試薬も堅調に推移。画像診断装置は減収。

5) 海外売上高

【地域別売上高】



【海外売上高比率】

2023/3 第3四半期累計	2024/3 第3四半期累計
35.3%	36.9%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	7,007	7,792	11.2
生体情報モニタ	25,259	25,879	2.5
治療機器	13,392	18,358	37.1
その他	5,328	5,540	4.0
売上高合計	50,987	57,571	12.9

為替影響除く: +6% (為替・決算期変更影響除く: +3%)

【地域別】 米州: 米国、中南米ともに二桁成長。米国では、生体情報モニタは前年同期を下回るも、治療機器、生体計測機器が大幅増収。中南米は、コロンビア、メキシコを中心に好調に推移。
 欧州: イギリス、オランダは好調に推移したものの、ドイツが好調だった前年同期を下回る。
 アジア州他: マレーシアが好調に推移し、モロッコでの大口商談も寄与。中国は反腐敗運動の影響もあり、売上高の伸びが鈍化。

【商品群別】 生体計測機器: 脳神経系群が全ての地域で好調に推移。心電計群はアジア州他、欧州で減収。
 生体情報モニタ: 米州、欧州では、円ベースで前年同期を上回る。アジア州他では、円ベース、現地通貨ベースともに減収。
 治療機器: AEDが全ての地域で好調に推移。人工呼吸器も、米国でマスク型人工呼吸器がけん引し、二桁成長。
 その他: 検体検査装置・試薬がアジア州他で前年同期を上回る。

6) 商品群別売上高

(単位:百万円)

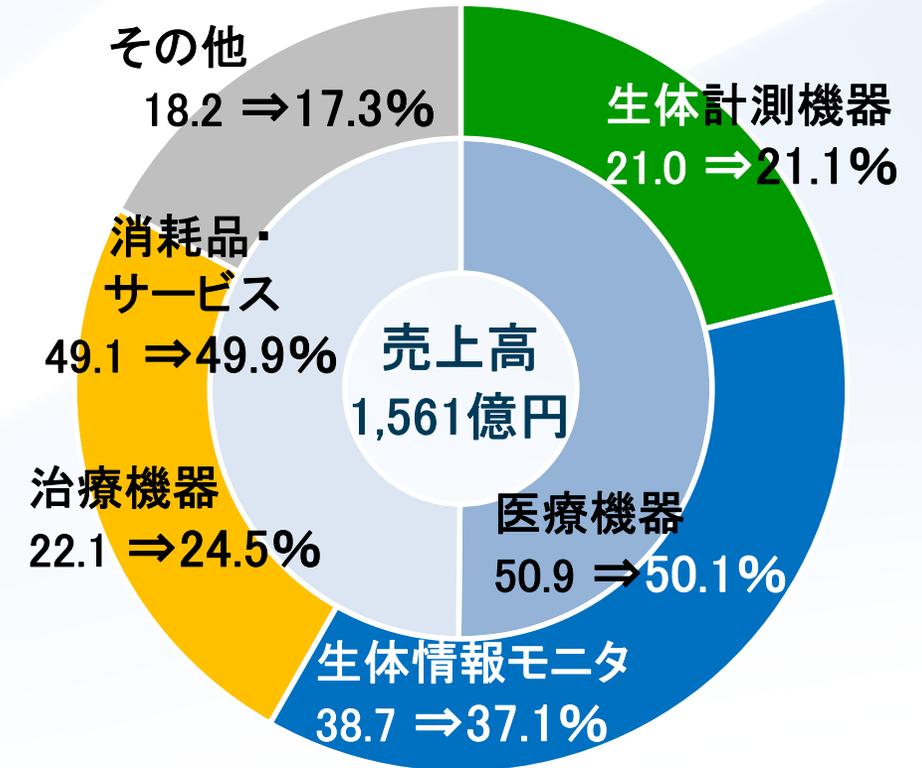
	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	30,382	33,021	8.7
生体情報モニタ	55,970	57,908	3.5
治療機器	31,887	38,258	20.0
その他	26,316	26,980	2.5
売上高合計	144,557	156,169	8.0

(参考)

医療機器	73,618	78,302	6.4
消耗品・サービス	70,938	77,866	9.8

商品群別売上構成比

(2022/12 ⇒ 2023/12)



[参考] 商品群別売上高の内訳

(単位:億円、単位未満切捨て)

生体計測機器	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計
脳神経系群	64	70
心電計群	47	46
心臓カテーテル検査装置群	117	129
その他(診断情報システム等)※	73	83

※診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。

治療機器	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計
医科向け除細動器	59	60
A E D	142	197
ペースメーカー・ICD	17	19
人工呼吸器	40	47
その他	57	58

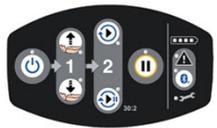
その他	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計
検体検査装置	86	89
画像診断装置他※	176	180

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

7) トピックス

2024年3月期発売の主な新製品※1

治療機器事業



圧迫モジュール
上面パネル部

自動心臓マッサージ装置 RMU-N2000

2023年度1Q:米国、欧州、新興国
2023年度4Q:日本

米国開発・生産

- ・デフィブテック社で開発・生産、日本に初上市
- ・セットアップと操作をシンプル化、一定の深さ・間隔の胸骨圧迫を目指した設計
- ・救命現場における迅速で絶え間ないCPR※2をサポート

人工呼吸器 NKV-440

米国開発・
生産

2022年度4Q:一部新興国
2023年度4Q:米国(予定)

院内搬送可能な
気管挿管型モデル



全静脈麻酔支援シリンジポンプ 制御ソフトウェア ROP-1680

AsisTIVA 2023年度2Q:国内
アシスティヴァ
バイタルデータを活用して
麻酔薬の自動調節を行う
ソフトウェア

生体情報モニタリング事業



セントラルモニタ CNS-2101

2021年度3Q:日本
2023年度3Q:米国
2024年度:
欧州、新興国(予定)



ベッドサイドモニタ BSM-2500

2023年度3Q:欧州、新興国

病棟・ER・ICU向け
普及タイプ

上海開発・生産



新生児蘇生モニタ NRM-1300

2022年度2Q:日本
2023年度4Q:
インドネシア(予定)



医用テレメータ WEP-1600

2023年度2Q:日本

臨床検査機器事業



在宅睡眠記録装置 NomadAir

2023年度2Q:米国



脳波計 EEG-1290 Next

2023年度2Q:日本

※1 許認可申請の審査期間等によって、各国での実際の発売時期は異なります。 ※2 CPR: Cardio Pulmonary Resuscitation (心肺蘇生)。

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計	増減額	2023/3 前期実績	2024/3 予想 期初	11月8日 修正
設備投資	3,273	3,202	△ 71	8,294	5,000	5,000
減価償却費	2,661	2,649	△ 12	3,675	4,100	4,000
研究開発費	4,395	5,011	615	6,200	7,200	7,200

●2024/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

インド 試薬新工場の建設 総投資額:約12億円 < 2023/3:10億円 2024/3:2億円 着工:2022年9月 完成:2023年9月 稼働開始:2024年夏予定

PLM/MES※システムの導入 設備投資額:約30億円 < 2023/3:3億円 2024/3~2026/3:27億円 PLM/MES:2026/3稼働予定

鶴ヶ島新工場の建設 総投資額:約95億円 < 2023/3:23億円(土地取得) 2025/3~:約72億円(建屋・設備等) 着工:2024年春 完成:2025年春 稼働開始:2026年予定

※PLM(Product Life-cycle Management):製品ライフサイクル管理、MES(Manufacturing Execution System):製造実行システム。

9) 通期業績見通し

	2023/3 前期実績	2024/3予想		増減率 (%)	(単位:百万円)
		期初	11月8日修正		
売上高	206,603	215,000	221,500	7.2	
国内売上高	135,734	139,500	142,000	4.6	
海外売上高	70,869	75,500	79,500	12.2	← 為替影響除く: +8%
売上総利益 (売上総利益率)	105,926 51.3%	109,000 50.7%	112,500 50.8%	6.2	
営業利益 (営業利益率)	21,120 10.2%	21,500 10.0%	22,200 10.0%	5.1	
経常利益	24,122	21,500	24,000	△ 0.5	
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,110	14,500	15,500	△ 9.4	
海外売上高比率	34.3%	35.1%	35.9%		
平均レート					
1米ドル	134.6円	125円	139円		
1ユーロ	141.0円	139円	151円		

【地域別海外売上高】

	2023/3 前期実績	2024/3予想		増減率 (%)
		期初	11月8日修正	
米州	36,818	40,200	43,400	17.9
欧州	12,349	11,700	12,600	2.0
アジア州他	21,701	23,600	23,500	8.3
海外計	70,869	75,500	79,500	12.2

※第4四半期の前提為替レートは142円/米ドル、157円/ユーロです。

[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2023/3 前期実績	2024/3予想			増減率(%)
		期初	11月8日修正	構成比(%)	
生体計測機器	43,287	44,100	46,100	20.8	6.5
生体情報モニタ	80,815	83,400	85,500	38.6	5.8
治療機器	44,463	48,200	50,900	23.0	14.5
その他	38,036	39,300	39,000	17.6	2.5
売上高合計	206,603	215,000	221,500	100.0	7.2

(参考)

医療機器	108,904	113,000	115,500	52.1	6.1
消耗品・サービス	97,699	102,000	106,000	47.9	8.5

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	4.0億円	1.4億円
ユーロ	0.6億円	0.2億円

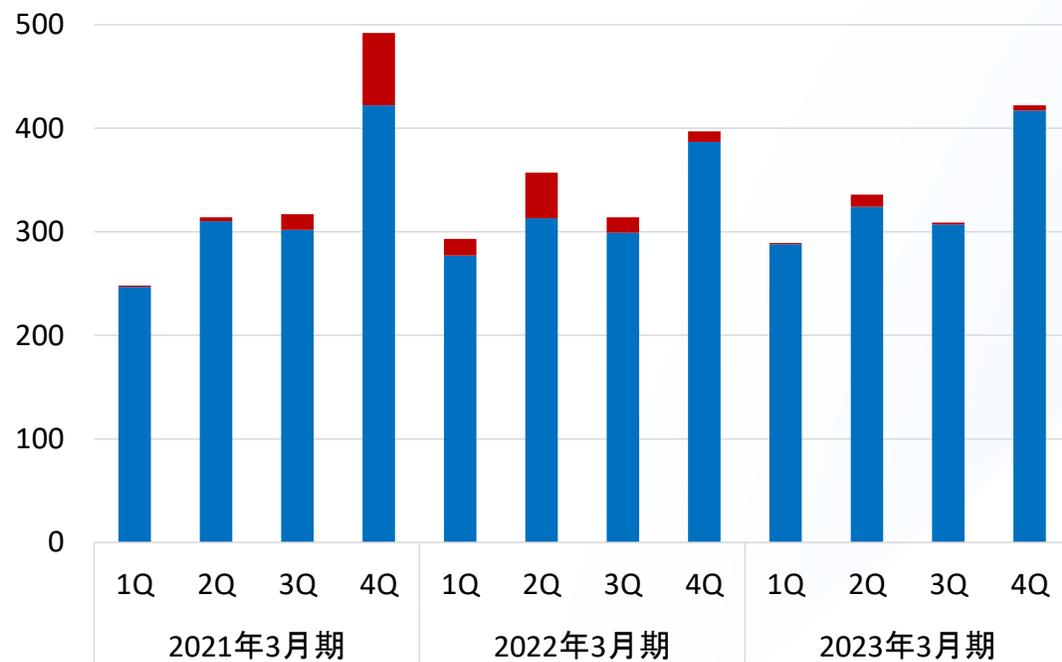
[参考] COVID-19関連需要の推移(概算)

【国内売上高】

【海外売上高】

■ COVID-19関連
■ COVID-19関連以外

(単位:億円)



COVID-19関連需要 (通期)	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	国内	海外	国内	海外	国内	海外
生体情報モニタ	40億円程度	45億円程度	60億円程度	35億円程度	15億円程度	3億円程度
人工呼吸器	50億円程度	40億円程度	25億円程度	15億円程度	5億円程度	1億円程度
除細動器	—	5億円程度	—	10億円程度	—	1億円程度
合計	90億円程度	90億円程度	85億円程度	60億円程度	20億円程度	5億円程度

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003